2026 年 3 月 16 日
一般社団法人日本損害保険協会　関東支部

宇都宮市で「サイバーセキュリティ対策セミナー」を開催

～サイバー犯罪の手口や実際の被害、実務での対応と被害に備える保険を紹介～

日本損害保険協会関東支部栃木損保会（会長：石谷 佳代子・三井住友海上火災保険株式会社 栃木支店長）では、2 月 20 日(金)宇都宮市の栃木県総合文化センターにおいて、「サイバーセキュリティ対策セミナーin 宇都宮」を以下のとおり開催しました。当協会は、栃木県において同セミナーを開催するのは 2 回目で、当日は約 110 名が参加しました。

日　時：2026 年 2 月 20 日(金)15 時～17 時
場　所：栃木県総合文化センター3 階特別会議室
主　催：一般社団法人 日本損害保険協会関東支部栃木損保会
後　援：一般社団法人 栃木県損害保険代理業協会
協　力：栃木県警察本部

本セミナーは、3 部構成とし、開催に先立ち、主催者を代表して、栃木損保会の石谷 佳代子会長から、「サイバー攻撃は、特別な企業だけのリスクではない。自社も例外ではないとの前提に立って対策を講じることが必要である。本日のセミナーが皆様の組織を守る具体的な行動につながり、栃木県の安全性向上につながれば幸いです。」と挨拶がありました。

第 1 部では、栃木県警察サイバー対策センターサイバー企画第二係の福田 暢係長から、「サイバー犯罪の現状と対策」と題して、コンピュータのデータを暗号化して使用不能とし、暗号化解除と引き換えに身代金を要求するランサムウェア攻撃について、発生状況や実際の手口を紹介しながら、「中小企業のランサムウェア被害は前年比で約 4 割増加しており、むしろ対策不足の中小企業が狙われている。攻撃者はセキュリティの甘いところを狙う。アンテナを高くして最新情報を収集するとともに、平時からリスク分析と情報資産対策、緊急時の体制確保が重要であることを認識してほしい」と訴えました。

第 2 部では、八雲法律事務所の村田 和希弁護士から、「企業におけるサイバー対策」と題して、ランサムウェア攻撃の実態とサイバーインシデントレスポンス（有事対応）・組織的対応（平時対応）について講演があり、「サイバーリスクは企業が直面する最大級のリスクである。いざランサムウェア攻撃等のサイバーインシデントが発生すると、多岐にわたる有事対応が必要になるとともに、事業中断リスクが生じる。サイバーセキュリティ体制の構築は、経営層の義務と解されるため、サイバーリスクを認識し、組織的なアプローチによる平時からの備えが大切だ」と訴えました。

第 3 部では、栃木損保会を代表して、三井住友海上火災保険株式会社 栃木支店の増田 洋光支社長から、「サイバー犯罪に備える保険」と題して、サイバー被害時の注意すべきポインとして、改正個人情報保護法への対応、取引先への影響とサイバー被害に備える保険について説明があり、「栃木県におけるサイバー保険の加入企業は約 10%と経営リスクとしての認識が低い傾向にあるが、2025 年下期以降有名企業の相次ぐサイバーの被害報道により、情報漏洩リスクだけではなく、長期にわたる業務停止リスク（売り上げ減少リスク）への関心が高まっている。業種により、想定される被害状況が異なるため、サイバー保険加入を検討の際には、契約前に補償範囲や条件をよく確認してほしい」と訴えました。

最後に、栃木県損害保険代理業協会の村田 泰章会長から、閉会挨拶があり、「サイバー犯罪は一部の大企業のリスクにとどまらず、中小企業も含めた身近な経営リスクである。自分の会社は大丈夫という油断がリスクを助長させる。代理店は、事故を未然に防ぐ伴走者として、企業の事業継続のため連携・支援をしていきたい。」と挨拶があり、盛況のうちに幕を閉じました。

参加者へのアンケートでは、9 割以上の参加者からわかりやすかった、役に立ったとの回答があり、「ランサムウェアに感染する恐ろしさを感じることができた。」「栃木県内で情報セキュリティに関する攻撃を受けた割合が約 40%に対して、保険の加入率は約 10%しかないことを伝えていければと思う。」などの感想が寄せられました。

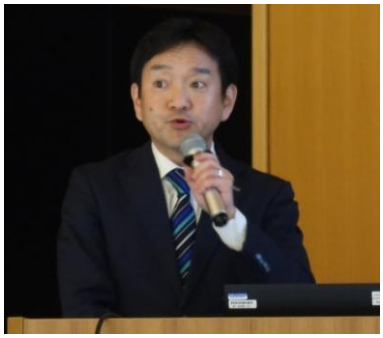
また、サイバーセキュリティ対策についても、「すぐにでも何か対策を講じようと思う」(40%) や「今後何か対策を考える必要があると感じた」(56%)」との回答があり、今回のセミナーが参加した方々のサイバーリスクの意識の変化や行動変容に結び付いたと認識できました。(アンケート5.(2)ご参照)。

当損保会では、今後も栃木県警察など関係機関と密接に連携して、安全で安心な サイバー空間の実現に貢献してまいります。

石谷損保会長の開会挨拶

栃木県警福田係長の講演

村田弁護士の講演



増田支社長の講演

村田代協会長の閉会挨拶

会場の様子

サイバーセミナーアンケート結果

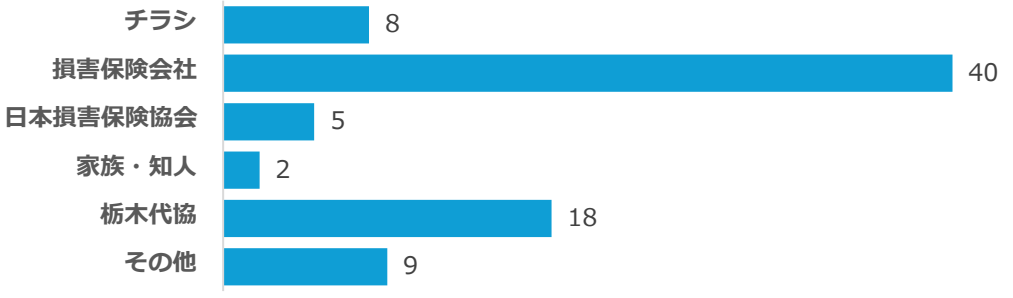
セミナー参加者数 **108**

アンケート回収数 **81** **アンケート回収率** **75.0%**

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	合計
	0	14	6	24	22	13	2	81
比率	0.0%	17.3%	7.4%	29.6%	27.2%	16.0%	2.5%	

おすまいの地域	宇都宮市内	県内宇都宮市外	栃木県外	合計
	40	34	5	79
	50.6%	43.0%	6.3%	

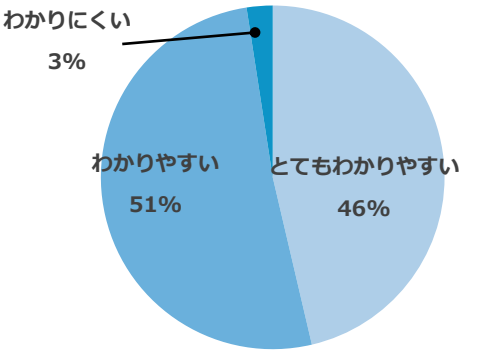
1．本日のセミナーをどのように知りましたか（複数回答）



2.「サイバー犯罪の現状と対策」【栃木県警・福田係長】

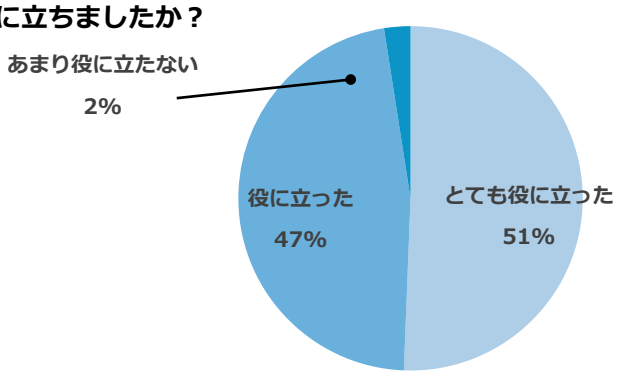
（1）内容は、わかりやすかったですか？

とてもわかりやすい	38
わかりやすい	42
わかりにくい	2
とてもわかりにくい	0



（2）サイバーリスクに備えるため、講演内容は役に立ちましたか？

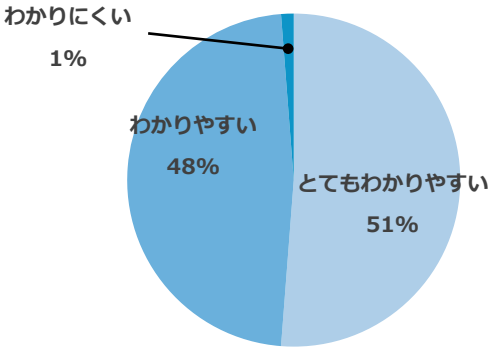
とても役に立った	41
役に立った	38
あまり役に立たない	2
全く役に立たない	0



3．「企業におけるサイバー対策」【八雲法律事務所・村田弁護士】

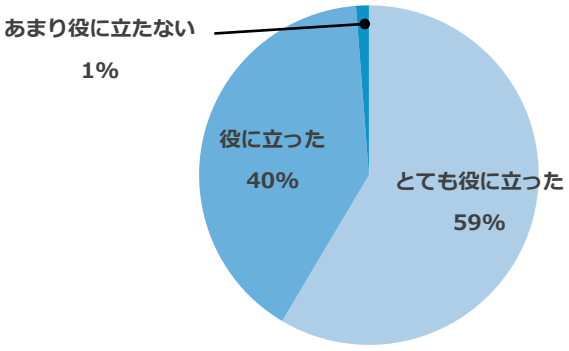
（1）内容は、わかりやすかったですか？

とてもわかりやすい	42
わかりやすい	39
わかりにくい	1
とてもわかりにくい	0



（2）サイバーリスクに備えるため、講演内容は役に立ちましたか？

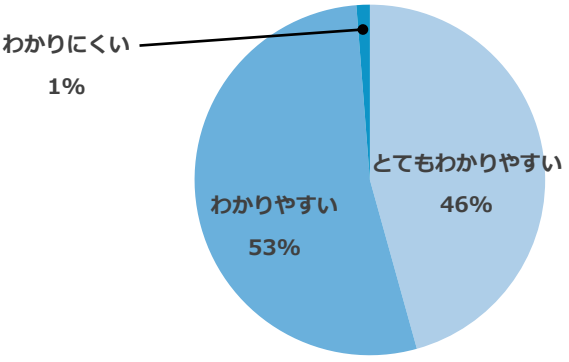
とても役に立った	48
役に立った	33
あまり役に立たない	1
全く役に立たない	0



4. 「サイバー犯罪に備える保険」【栃木損保会 三井住友海上・増田支社長】

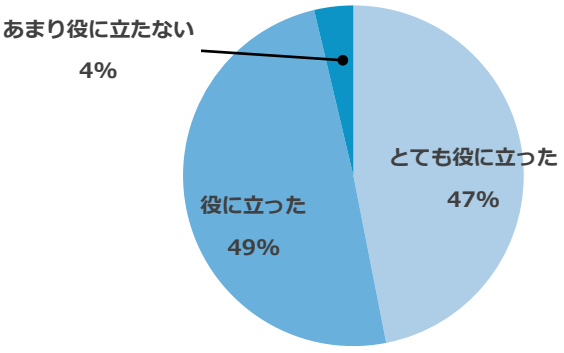
（1）内容は、わかりやすかったですか？

とてもわかりやすい	37
わかりやすい	43
わかりにくい	1
とてもわかりにくい	0



（2）サイバーリスクに備えるため、講演内容は役に立ちましたか？

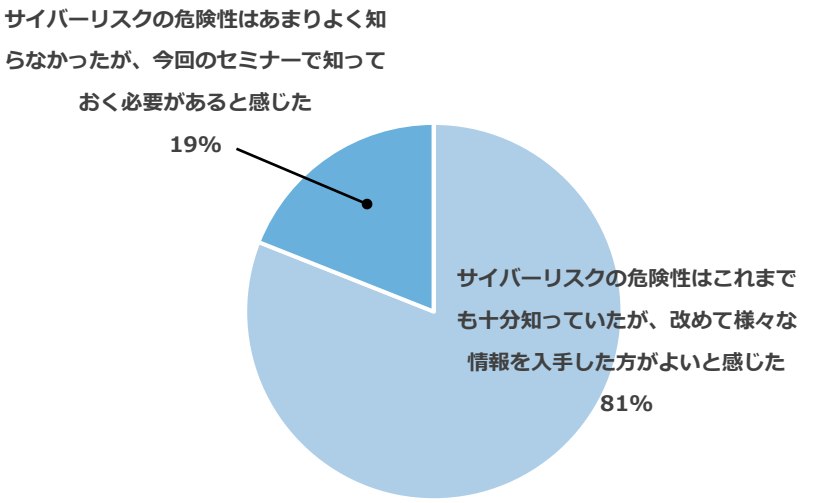
とても役に立った	38
役に立った	40
あまり役に立たない	3
全く役に立たない	0



5. 本日のセミナーを聞いて、ご自身のサイバーリスクへの意識がどう変わったか？お聞かせください。

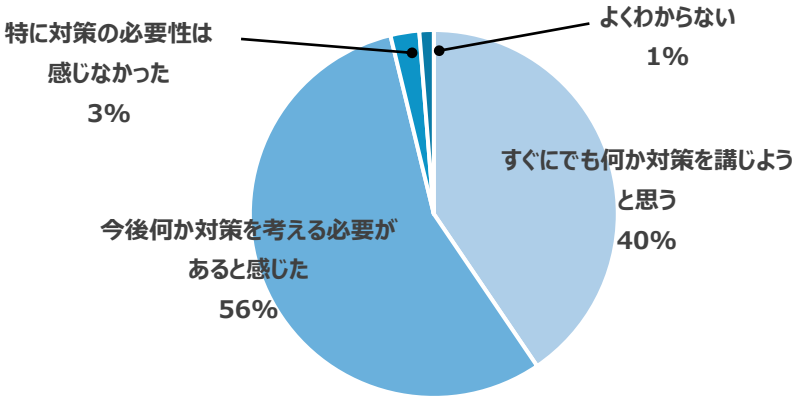
（1）サイバーリスクの危険性について

サイバーリスクの危険性はこれまでも十分知っていたが、改めて様々な情報を入手した方がよいと感じた	64
サイバーリスクの危険性はあまりよく知らなかったが、今回のセミナーで知っておく必要があると感じた	15
サイバーリスクの危険性は知る必要はないと感じた	0
よくわからない	0



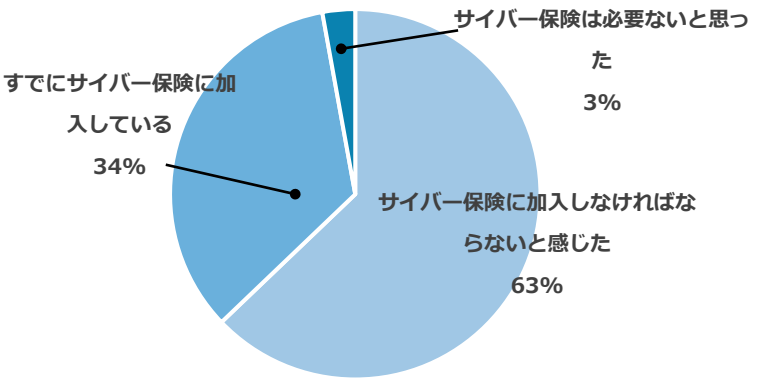
（2）サイバーセキュリティ対策について

すぐにでも何か対策を講じようと思う	32
今後何か対策を考える必要があると感じた	44
特に対策の必要性は感じなかった	2
よくわからない	1



（3）サイバー保険の必要性

サイバー保険に加入しなければならないと感じた	44
すでにサイバー保険に加入している	24
サイバー保険は必要ないと思った	2



上記(３)サイバー保険の必要性について、「③サイバー保険は必要ないと思った」と回答した理由は？

・関係ないから